

東京都高等学校特別活動研究会

団体の概要

教育活動において教科指導と並び車の両輪に例えられる特別活動、その振興を図ることを目的として、月例研究会の他に年3回の研究協議大会、そして毎年大盛況の3月の研修会を実施し、一年間の成果を紀要にまとめている。

研究テーマ

「なすことによって学ぶ」という基本理念のもとに、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を手掛かりに、生徒の資質・能力の育成に努める。

重点的な取り組み内容

学習指導要領に定められた特別活動の「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」の3領域を中心に取り上げ事例研究を行う。特に実践報告から課題を見だし、管理職等をリーダーとした参加者による話し合い活動などを通じて、参加者個々の課題解決も図ることができるよう工夫している。

取組内容

- ①**第1回 研究協議会**（7月2日 **オンライン開催**）
基調提案「ホームルーム担任の仕事 1日1年」
実践報告「支え合うホームルーム活動」
- ②**第2回 研究協議会**（10月23日 **オンライン開催**）
実践報告「生徒の思いを引き出す「待ち」の指導
～支援員Sさんとの出会いを通じて～」
実践報告「オンラインでの生徒会活動と学校行事の試行～その1～」
- ③**第3回 研究協議会**（1月15日 **オンライン開催**）
実践報告「コロナ禍でもできる学校行事～オンラインでの文化祭代替行事の試行」



成果

第1回には46名、第2回には64名の先生方が参加し、特別活動の実践の普及を行うことができた。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインによる研究協議会を開催し、TeamsやZoom、Formsを用い、都立・私立の先生方を交えて、実践事例や工夫について情報交換をすることができた。

課題

新学習指導要領に即した実践や研究がまだ不十分であるため、今後はその内容を十分に研究し、改訂の方向に沿った実践はどうあるべきかを研究していくことが課題である。オンライン開催における運営についてもさらに改善を図り、在り方を模索していく。

今後の予定

3月上旬 15時00分～17時30分
研究部月例会「新担任向け研究会」

連絡先

代表者:東京都立三鷹中等教育学校
統括校長 藤野 泰郎
連絡先:東京都立田園調布高等学校
主幹教諭 吉田 宣浩